

もと西淡路小学校跡地検討会議 ～学校跡地の活用方策を検討するために～

防災拠点としての活用

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

【基本理念】 みんなで つながる ふだん暮らしのまち
【基本目標】 地域のつながりによる安全・安心づくり
だれもが住みやすく楽しく暮らせるまち
関西各地につながる便利・快適なまち

コミュニティの拠点としての活用

令和
元年度

住民からの意見要望等の収集
(検討会議の開催)

検討会議第1回(4月)、第2回(6月)「検討会議の設置、ワークショップによる意見交換など」
同第3回(9月)、第4回(12月)「スケジュールの確認、委員からの意見収集」
※9月から2月にかけて区役所が地域に出向いて地元の意見を収集・集約する。
同第5回「まちづくりに資するコンセプト及び条件を議論」

令和
2年度

①マーケット・サウンディング
の実施
(事業実現可能性の検討)

活用方策(案)を検討する前段階として、有効活用の方向性、市場性の有無、市場性を出すためのアイデアを得るために①マーケット・サウンディングを実施する。

サウンディング実施後

令和
3年度

②マーケット・サウンディング
の実施
(公募条件の検討)

民間事業者からの提案、意見等を踏まえて事業化の方針、公募条件を再検討し(②マーケット・サウンディングの実施)、条件が整った段階で事業者募集を行う。

令和
4年度

公募型プロポーザルの実施
(事業者決定)

整理された公募条件に基づき、企画案・実施方針等の提出を求め、最も優れた「提案者」を事業者として採用する。

令和
5年度

跡地活用
(事業化)

事業成立